

目 次

第 1 編 施設管理

第 1 章 施設

1 配水池、HWL、LWL、公称容量 -----	2
2 減圧弁、安全弁、加圧場、加圧所の設定圧 -----	5
3 自己水源 -----	6

第1編 施設管理

第1章 施設

1 配水池、HWL、LWL、公称容量

配水池名	公称容量 (m ³)	HWL (m)	LWL (m)	構造形状 (寸法単位 : m)	竣工年度
三ヶ峯配水場	V=6,400 V=20,000	169.30	155.40	PC造り φ23.90×H14.60 PC造り φ42.70×H14.70	S 53年 S 55年
横道配水場	V=6,200	111.93	99.20	鋼製 φ25.00×H12.93	S 62年
御岳山 高区配水場	V=2,900 V=2,800	119.65	112.95	PC造り 17.60×26.40×H7.15×2池	S 51年
御岳山 低区配水場	V=440×2池	97.00	93.65	PC造り φ13.00×H4.00×2池	S 43年
笠寺山配水場	V=1,900 V=440	76.06 76.06	67.86 68.15	PC造り φ17.20×H8.90 PC造り φ8.50×H8.06	S 47年 H 22年
東郷配水場	V=5,000×2池 V=10,000	108.70	94.20	PC造り φ21.00×H15.90×2池 PC造り φ29.70×H15.90	S 56,60年 H 21年
尼ヶ根配水場	V=330 V=1,400	80.90	77.29	RC造り 7.76×11.76×H3.70 RC造り 24.96×16.56×H3.80	S 44年
高嶺配水場	V=2,000×2池	100.55	94.55	PC造り φ21.00×H6.20×2池	S 45年
東山配水場	V=2,400×2池	81.00	71.50	PC造り φ26.00×H9.80	H 24年
双峰配水場	V=1,200×2池 V=800	49.06	45.68	RC造り 27.95×12.95×H4.14×2池 RC造り {(3.90+16.00)×18.40× 0.50+16.00}×3.6}×H4.14	S 44年 S 45年 R5.2休止
大脇受水場	V=1,000 V=1,300	6.00	2.50	RC造り 25.40×11.20×H3.85 RC造り 20.00×20.00×H4.60	H 17年 S 52年
二村山配水場	V=4,600×2池	60.00	53.00	PC造り 26.00×26.00×H7.30×2池	S 58, H 3年
福谷水源	V=490	58.50	55.90	RC造り 10.00×19.00×H3.40	S 40年
鉛ヶ松受水場	V=200×2池	61.00	57.16	RC造り 5.30×8.00×H4.25×2池 RC造り 3.05×3.50×H8.01×2池	S 53年
沓掛配水場	V=560	74.62	70.97	PC造り φ14.00×H4.27	S 63年
三ヶ峯団地 配水場	V=80	163.00	160.40	PC造り φ7.00×H3.20	S 54年
三好ヶ丘配水場	V=4,000 V=3,800 V=3,900	148.00 138.00 138.00	140.00 130.00 130.00	PC造り φ25.40×H8.20 PC造り φ36.00×H8.20 (2重構造)	H 4年
竹ノ山配水場	V=50×2池	132.21	129.35	RC造り 6.73×3.70××H2.86×2池	S 48年

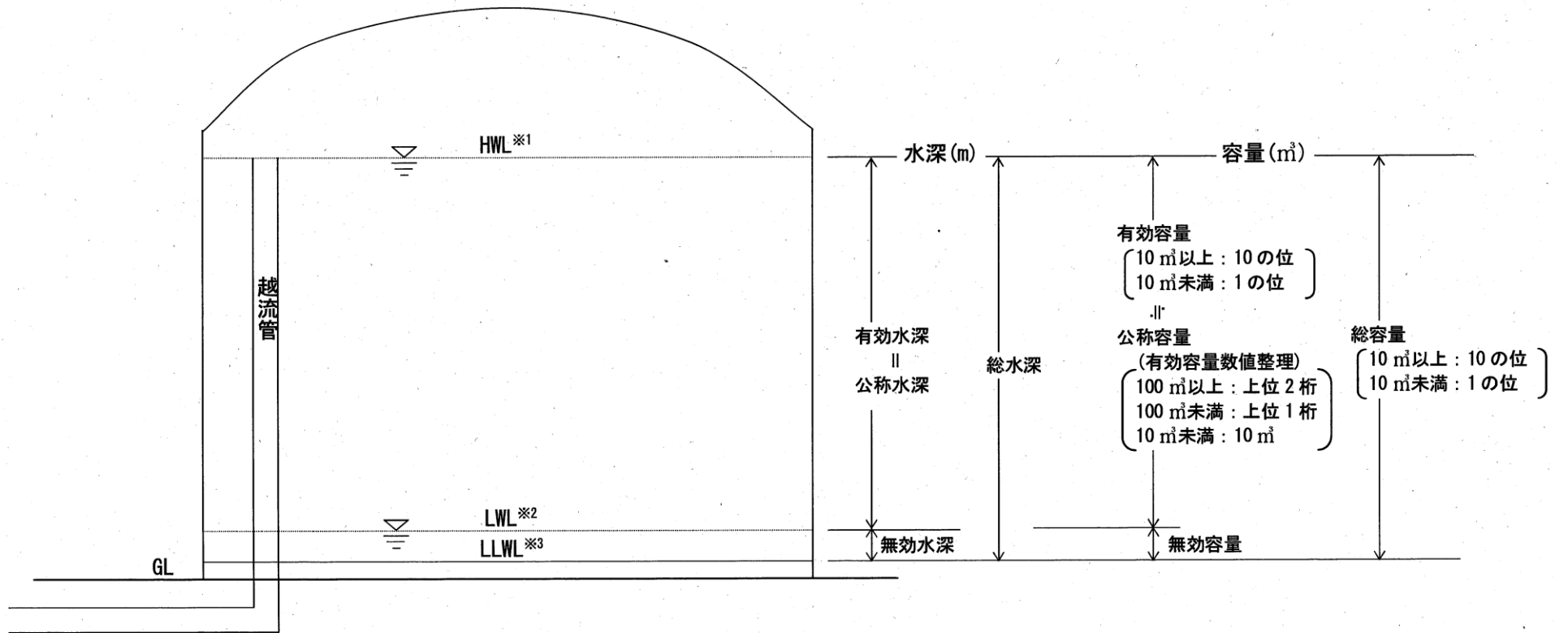
(令和3年度版 水道業務要覧より抜粋)

用語の定義及び採用基準

用語	定義	採用基準
地盤高	施設が存在する地面の高さで、標高(m)で表す。(LLWLとは異なるので注意)	施設内に設置された水準点または水準測量位置の高さとする。
HWL	配水池内の最高水位。標高(m)で表す。	越流管の高さとする。
LWL	配水池内の最低水位。標高(m)で表す。	(流出管の上端高+2D)または(底版上15cm)のどちらか高い方とする。但し、複数池を並列に運用する場合は、両池のLWLの低い方とする。 ポンプの運転を行っている場合は、ポンプの運転可能下限水位とする。
HHWL	配水池内の上限水位。標高(m)で表す。	HWLを越流管高としたので採用しない。
LLWL	配水池内の最下限水位。標高(m)で表す。	配水池の底版高とする。
総水深	配水池内に貯水可能な総水深(m)。	(HWL-LLWL)とする。
無効水深	配水ができない水深(m)。	(LWL-LLWL)とする。
有効水深	配水が可能な水深(m)。	(HWL-LWL)とする。
公称水深	有効水深と同一。	
総容量	配水池内に貯水できる総容量(m ³)。	HWLからLLWLの総貯水量。有効数字は10の位とし、容量10m ³ 未満は1の位。
無効容量 (無効水量)	実際に利用ができない容量(m ³)。	(総容量-有効容量)。有効数字は10の位とし、容量10m ³ 未満は1の位とする。
有効容量 (有効水量)	実際に利用可能な容量(m ³)。	有効水深内の貯水可能容量。有効数字は10の位とし、容量10m ³ 未満は1の位。
公称容量	有効容量の有効数字を整理した容量。	容量100m ³ 以上は上位2桁、100m ³ 未満は上位1桁、10m ³ 未満は10m ³ とする。
震災時LWL	震災時の応急給水時に応急給水管で給水が可能な最低水位。標高(m)で表す。	ポンプ等を用いることなく配水池から取出すことが可能な応急給水管の上端とする。 (上下2箇所取出し可能な場合は下側の応急給水管)
震災時LLWL	震災時の応急給水時に可搬式ポンプまたは自吸式ポンプで給水が可能な最低水位。標高(m)で表す。	(流出管の上端高+10cm)または(底版上10cm)のどちらか高い方とする。
震災時応急給水容量	震災時応急給水のため貯水可能な容量(m ³)。	(平常時の平均運用水位※1-震災時LLWL)とする。

※1：通常運転時の最大水位と最小水位の中間値

配水池容量等用語図解



※1 HWL・・・越流管の高さ

※2 LWL・・・(流出管の上端高さ+2D)または(配水池底版上15cm)のどちらか高い方

※3 LLWL・・・配水池の底版高さ

2 減圧弁、安全弁、加圧場、加圧所の設定圧減圧弁、安全弁

(令和4年6月6日更新)

	名 称	設置場所	口径 (mm)	標高 (m)	設定圧 MPa	一次圧 MPa	二次圧 MPa	備 考
長久手	田籾減圧弁	前熊一ノ井地内	350	93.10	0.39	0.71	0.39	
	田籾安全弁	前熊一ノ井地内	150	93.10	0.49	0.39	—	
	横道流入減圧弁	横道配水場内	300	—	0.30	0.40	0.30	
日進	柿ノ木減圧弁	米野木町柿ノ木前地内	150	70.00	0.42	0.75	0.42	
	株山減圧弁	香久山四丁目地内(歩道)	300	43.20	0.45	0.75	0.45	
	株山安全弁	香久山四丁目地内(歩道)	100	43.20	0.52	0.45	—	
	米野木第1減圧弁	米野木町小廻間地内	500	57.40	0.70	1.05	0.70	
	三本木減圧弁	三本木町池下地内	300	92.00	0.50	0.75	0.50	
	三本木減圧弁用安全弁	三本木町池下地内	100	92.00	0.64	0.50	—	一次圧調整用
	愛知池減圧弁	米野木町南山地内(歩道)	350	75.30	0.41	0.90	0.41	H9.5 運用開始
	愛知池安全弁	米野木町南山地内(歩道)	150	75.30	0.50	0.41	—	H9.6 運用開始
	三ヶ峯北線減圧弁	岩藤町大清水地内(総合公園敷地)	400	72.40	0.55	0.80	0.55	H17.2 運用開始
	三ヶ峯北線安全弁	岩藤町大清水地内(総合公園敷地)	100	72.40	0.65	0.55	—	H17.2 運用開始
	米野木減圧弁	米野木町丁田地内	400	51.70	0.50	0.75	0.50	未使用
	米野木安全弁	米野木町丁田地内	100	51.70	0.60			未使用
東郷	東郷高区減圧弁	東郷高区減圧弁室内	250	75.40	0.40	0.88	0.40	H25.5 運転開始
	東郷高区減圧弁用安全弁	東郷高区減圧弁室内	100	75.40	0.50	0.40	—	H25.5 運転開始
	東郷三ヶ峯流入減圧弁	東郷配水場内	400	91.40	0.24	0.72	0.24	
	尼ヶ根減圧弁	尼ヶ根配水場内	300	76.00	0.06	0.23	0.06	安全パイロット 0.15Mpa
	清水公園減圧弁	清水3丁目地内	300	37.30	0.45	0.67	0.45	H23.2 運用開始
	清水公園安全弁	清水3丁目地内	100	37.30	0.55	0.45	—	H23.2 運用開始

	名 称	設置場所	口径 (mm)	標高 (m)	設定圧 MPa	一次圧 MPa	二次圧 MPa	備 考
豊 明	唐竹減圧弁	二村台 1 丁目地内	200	27.70	0.45	0.65	0.45	
	双峰東郷流入減圧弁	二村台 7 丁目地内	400	46.00	0.20	0.44	0.20	東郷流入
	三崎池減圧弁	三崎町三崎地内	200	26.00	0.45	0.63	0.45	2 次圧 0.45Mpa
	沓掛減圧弁	沓掛町徳田池下地内	500	21.30	0.69	0.84	0.69	
	沓掛安全弁	沓掛町徳田池下地内	200	21.30	0.79	0.69	—	H27.1 運用開始
みよし	高嶺減圧弁	三好丘緑 3 丁目地内 (車道)	400	94.00	0.10	0.47	0.10	H8.4 運用開始
	高嶺安全弁	三好丘緑 3 丁目地内 (車道)	100	94.00	0.37	0.27	—	H8.4 運用開始

	加圧施設名称	設置場所	ポンプ 台数	標高 (m)	設定圧 MPa	吸込 (mm)	吐出 (mm)	備 考
長久手	長久手 N T 加圧所	岩作三ヶ峯地内	2	130.10	0.54	65	50	VVVF(可変電圧可変周波数制御)
	長久手三ヶ峯団地加圧所	岩作三ヶ峯地内	2	130.70	0.40	50	50	
	山越公園加圧所	砂子地内	2	71.00	0.46	75	75	
日 進	竹ノ山加圧所	岩崎町竹ノ山地内	2	125.84	0.30	40	40	H22 年度より VVVF
	日進 N T 加圧所	米野木町北山地内	2	115.51	0.46	65	65	
	さくら台加圧所	五色園 1 丁目地内	1	76.45	0.65	80	80	
豊 明	双峰配水場	二村台 7 丁目地内	3	46.03	0.54	200	150	停止中
みよし	黒笹山手加圧所	黒笹山手地内	3	98.85	0.40	75	75	R2 年度より VVVF

3 自己水源

	名 称	設置場所	ポンプ台数	ケーシング口径	井戸深度 (m)	標高 (m)	備 考
みよし	福谷水源	福谷町善ヶ山 45 - 1	φ100 1 台	300	250.00	61.11	
	東名水源	根浦町 7 丁目 1 - 17	φ 80 1 台	300	153.61	59.85	
東 郷	和合ヶ丘水源	和合ヶ丘 3 丁目 10 - 9	φ 80 1 台	300	81.50	59.38	